

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	リハビリ発達支援ルームUTキッズ河合			
○保護者評価実施期間	令和7年 1月 4日		～	令和7年 1月 25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	66	(回答者数)	21
○従業者評価実施期間	令和7年 1月 10日		～	令和7年 1月 25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月 7日			

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・イベントを沢山している	・クッキングイベントや外出支援など、経験値が積めるようなイベントを月に1回は行っています。	・1年を通して計画を立てる中で、子どもたちからも作ってみたいものを募り、実現できるように職員で話し合いをしています。
2	・担当制(1年ごとに変更)であるので、支援が一貫性を持って進められる	・担当制であるため、信頼関係の構築が早期にできます。また、支援を段階的に進めることができます。	・本人の状態からプリント課題と具体物の支援を見極めて、使い分けていけるようにすると共に、支援者も利用者も楽しい時間になるように工夫しています。
3	・ビジョントレーニングを取り入れている	・学習支援、ソーシャルスキルトレーニング(SST)の時間に、意識的に眼を使って遊ぶ内容を取り込んでいます。	・ビジョントレーニングを意識した取り組みの内容を検討し、年間のカリキュラムを作り、クラスに合わせてカスタマイズしながら進めています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・支援が偏ることがある	・検討時間を上手く活用できていません。担当制で支援がスムーズに進むこともありますが、自分の考えだけで進めてしまうこともあります。	・検討出来る時間を固定し、検討内容を書きこんで見える化することで、意識して取り組んでいけるようにします。
2	・施設内に壁や隙間が多く、ぶつかったり挟んだり怪我になることがある	・家の構造と同じため壁で仕切られており、クローゼットの扉など各部屋にあります。 ・クローゼットの中に棚を置いているのですが、入りたくなるような隙間が出来てしまっています。	・子供が興味を持ちそうな隙間などは、あらかじめ入れないようにするか、入っても安全なように整理しておきます。
3	・施設が2階の為、玄関を開けてすぐ階段があり、降りても前がすぐに道路になっている	・施設が2階にあります。	・施設の構造を変えることはできませんが、手すりに網を設けたり、滑り止めをつけたり、登ったところはシートで覆って柵に登らないように工夫しています。さらに、定期的に点検を行い、安全を確保していきます。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 リハビリ発達支援ルームUTキッズ河合

公表日 2025年3月17日

利用児童数 2025年1月4日

回収数 21

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	19	1		1	・体を動かすには少し狭いかなと思います。	・施設の構造上広さを変えることは出来ませんが、支援内容に合わせて、机や椅子を片付けスペースを確保して対応していきます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	19	1		1		・研修に参加し専門性の向上に努めています。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	14	3	1	3	・子どもにわかりやすく構造化されていると思うが、教室までの急な階段が怖い ・バリアフリーにはなっていない ・以前外階段を登った所の手すりから息子が乗り出した事があって、その時は先生がすぐに気付いて止めて下さいましたがヒヤッとしました。階段側は下が畑ということもあって普通の2階より高さがあり、下にはコンクリートの仕切りなどもあるので危ないと感じます。外にある階段ということもありますが、普通の階段より少し急に感じて、網はしてはいますが登りきった所は普通に子どもが乗り越えられる高さなので、いつも心配になります。今までお怪我された方がいらっしやらなかったかもしれませんが、これからは出ない事を祈ります。 ・入り口が2階ですが非常階段っぽい階段なので危険	・階段については、設備上変更が困難となりますので、ご了承いただきますようお願いいたします。また、安心してご利用いただけるように定期的に点検を実施していきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	19	1		1		・毎日掃除をし、消毒もしています。施設の構造上広さを変えることは出来ませんが、支援内容に合わせて、机や椅子を片付けスペースを確保して対応しています。
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	21				・定期的に先生と保護者の面談があり、困り事などに寄り添った療育の提案をしていただき、とても感謝しています。	・引き続き保護者の方と合意形成を図り、お子さまの段階に合わせた支援を行ってまいります。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	19			2		・5領域プログラムの公表はされています。
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	21					
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	19	1	0	1		・保護者の方と合意形成を図り、お子さまの段階に合わせた支援設定を行っています。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	20	1				
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	19	2			・まもなく支援を受けて5年になるが、前年と異なるいろいろな工夫がされていると思う	・引き続き、職員間で話し合いながら共通理解をしていけるように努めています。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	7	3	7	4		・地域ではありませんが、外出支援を行ったり、外部支援のお知らせを貼り出しています。
12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	20				1	・契約時に伝えていますが、内容が変わり次第伝え直しをしています。	

保護者への説明等	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	21					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	9	3	3	6		・現状実施できていない為、今後保護者同士で話し合える茶話会などを開催していく検討をしています。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	20	1				
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	20			1		・お声掛けがあれば、面談の実施、もしくは面談の予定を入れるなど、迅速に対応しています。 ・子育てサポートを実施し、要望があれば別日で面談もおこなっています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	21					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	6	2	6	7		・現状実施できていない為、今後保護者同士で話し合える茶話会などを開催していく検討をしています。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	17	2		2		・契約の時に説明させていただいています。その都度、面談の実施、もしくは面談の予定を入れるなど、迅速に対応しています。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	21					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	9	4	3	5		・インスタグラムへの投稿、事業所内新聞の掲載を実施しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	17	1		3		・鍵のかかる場所で保存しています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9	4		8		・計画を立てて訓練しており、実施した内容を掲示していますが、掲示方法を検討しています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	9	3	1	8		・計画を立てて訓練しています。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	13	2		6		・計画を立てて訓練を実施しています。
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	13	5		3		・事故等あった時は、状況説明を含め連絡させていただいています。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	20	1				・皆様に「楽しい」や「できた」を感じて頂けるように支援内容を工夫し、安心して通っていただけるように努めます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	17	3	1			・支援の工夫を職員間で話し合い、向上していけるように努めていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	19	2				・何か不明な点がありましたら、いつでもご相談下さい。また、質の向上をしていけるように努めていきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		リハビリ発達支援ルームUTキッズ河合		公表日		2025年 3月 17日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・ 体制 整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		・人数が多い時は机を室外に出すなどの方法をおこなっています。 ・学習支援では適切であると考えますが、SSTのような集団のクラスには、活動によっては支援室は狭いと感じています。	・SSTなどの動く活動は、2階より広い1階で活動をする等の工夫が必要だと考えています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	1	・利用者の定員に対して職員の配置が少ないと思いますが、スタッフ同士でフォローし合いながら事業所運営をしています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		6	・施設が2階にありバリアフリーにはなっていません。 ・施設が2階であり、急な階段があります。 ・設備の都合上バリアフリー化は難しいですが、入ってはいけない場所等は視覚化しています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		・日々掃除を行い、清潔を保っています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		・集中の持続が難しい等の困り感を抱えた利用者様には個室の使用を促している為、個別の部屋を使用する事ができます。		
業務 改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6		・イベントは、必ず振り返りの時間を取っています。その他、必要に応じてではありますが、振り返り・目標の確認をしています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・アンケートなどを通して把握しています。	・頂いた意見に対して検討を重ねていきます。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・個別で話をする時間を持ちたり、ミーティングで意見を出したりしています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		6	・第三者による外部評価は実施していません。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		・行きたい研修には参加できるようにしており、法人内の研修も開催されています。		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		・支援のプログラムは、基本の流れとして作成しています。 ・5領域プログラムの公表はされています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		・聞き取りを行っています。	・支援の中でさらにお子様の分析を行い、必要があれば保護者と話し合いを行って、計画書の変更をしていきます。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		・作成する際は、児発管と担当で担当者会議を行い、支援を共通理解できるように検討を行なっています。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	1	・パソコンやファイルからいつでも確認できるようになっており、計画書を確認し、計画に沿った支援を行っています。		

適切な支援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	1	5	・インフォーマルなアセスメントとしてはミーティングの時などで確認はできますが、フォーマルな形式としてのアセスメントは共有できていないことが多いです。 ・適応行動の状況を把握するための標準化アセスメントツールを用いて評価は実施できていません。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		・子どもの困り感などに応じて作成しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	1	・支援のプログラムは、基本の流れとして作成しています。また、子どものニーズに合わせて活動内容の立案を出しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		・同じような活動は、子どもたちが安心して取り組める活動であり、見通しが持ちやすく、取り組みやすいと考えています。その中で一人ひとりに合わせて、レベルアップを行いつつ、楽しめるように工夫しています。 ・集団支援枠ではイベントを行っています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		・その日の状態に応じていつものクラスで参加できるかを確認し、プログラムの内容を伝えることで見通しをもってもらい、どのように過ごすかをお子様と一緒に考えています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	1	・打ち合わせ出来る時間を見つけて担当同士やスタッフ全員に周知を行っています。 ・その他、打ち合わせが必要な時は随時行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	2	・「必ず」ではなく、「必要があるとき」に行っている状態です。時間的な制約があり、毎回、必ず、行うことは現実的には難しいところがあります。 ・SSTのクラスの振り返りは毎回行っていますが、学習支援の動課題の振り返りは毎回は行えていません。	・意識して、当日か次の日までは振り返りや共有を行うようにします。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		・担当制ではありますが、事業所に通っている状態です。時間的な制約があり、毎回、必ず、行うことは現実的には難しいところがあります。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		・半年に1度見直しを行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	6		・自立支援や余暇活動等の居場所作りを行っています。	
関係	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6		・視覚提示で選べるようにする等その子どもにあった配慮を行っています。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		・担当制ですので、基本は担当と管理者で参加しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	1	・家族支援や関係機関連携加算などを使用し、学校訪問を実施しています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。		6	・送迎サービスを行っていない為実施していません。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	4	・保護者から園児の時の様子を聞くことはありますが、関係機関との情報共有はできていません。	

機 関 や 保 護 者 と の 連 携	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	3	・提供したことはありません。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		6	・支援センターとの連携はありませんが、他事業所や相談指導員との交流は行っています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	2	・外部支援、キャンプ療育、会社イベント、作業療法士協会主催のイベントにて地域の他の子どもとの交流の機会を設けています。	
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。		6	今後、機会があれば参加していく予定をしています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		・フィードバックの時等の短時間で相談できない時は、面談の実施をしています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	1	・必ず支援後にフィードバックを行ったり保護者に支援内容を伝えたり、情報の共有を行っています。	・今後、イベントの裏で保護者の茶話会開催などの検討をしています。
保 護 者 へ の 説 明 等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		・契約時に伝えていますが、内容が変わり次第伝え直しをしています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		・聞き取りや相談を行う事で意向を確認しています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6		・サインの前に、内容の説明をし、確認をして頂いています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		・その都度、面談の実施、もしくは面談の予定を入れるなど、迅速に対応しています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		6	・保護者会を開催することは必要だと思いますが時間と人手の制約もあり現状では難しいです。	・現状実施できていない為、今後保護者同士で話し合える茶話会などを開催していく検討をしています。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		・申し入れがあれば迅速に対応して話し合いを行い、全職員で共有できるようにしています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		・インスタグラムへの投稿、事業所内新聞の掲載を実施しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		・鍵のかかる場所で保存しています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		・子どもと保護者の思いをくみ取るよう努めています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		6	・法人としては行っていますが、事業所としての対応はしていません。	